

サーバウォレットサービスソリューション

Server Wallet Services Solution

塩 津 完 児
Kanji Shiotsu

要 旨

SET (Secure Electronic Transaction) によるインタ - ネット決済の普及の課題である、金融機関・カ - ド会社におけるウォレットソフトウェアの作成・配布、導入およびサポートにかかるコストを低減し、かつショッピング利用者に対してSETによるインタ - ネット決済の利便性を大きく向上させる「サ - バウォレットサ - ビスソリュ - ション」を紹介している。

1. ま え が き

近年、電子商取引の普及に伴い、インターネット上で安全な商取引を実現するために、電子マネー決済、プリペイド方式の決済、クレジットカードを利用した決済など、さまざまな決済の提案がなされてきた。現在もっとも利用の多いのがクレジットカードを利用した決済方式であり、中でも安全性の面からSET (Secure Electronic Transaction) 決済への期待が高まっている。

この状況を背景に、「日本インターネット決済推進協議会 (JIPPA)」によりインターネット決済の標準化がSETをベースに進められており、すでに金融機関やクレジットカード各社が相次いでSETを利用した決済サービスの検討および提供を始めている。

しかし、現在のSET決済の利用環境においては、ショッピング利用者へのCD-ROMによるSETソフトウェアの配布、ソフトウェア導入の煩雑さ、およびそれに伴う導入サポートコストの高さが大きな壁となり、SET決済サービス参入への足かせとなっている。



塩津完児

システムソリューションカンパニー ビジネスソリューション事業部 ソリューション企画部

本稿では、金融機関、クレジットカード会社などの決済機関からショッピング利用者に至るまでのSET決済関係者に対してトータルにサポートサービスを実現する「サーバウォレットサービスソリューション」に関し、その必要性、概要、および今後の展開を述べる。

2. サーバウォレットサービスの必要性

現在のSET決済には、以下の課題がある。

ショッピング利用者のウォレット導入

ショッピング利用者がSET決済を利用するためには、ウォレットソフトウェアを利用者のPCにインストールする必要がある。このためのソフトウェアの入手、インストール作業、バージョンアップ作業などが利用者の大きな負担になっている。

ウォレット配布

決済機関においては、ショッピング利用者へのウォレットソフトウェアの配布コストが大きな負担となっている。これは、ウォレットソフトウェアが暗号化ソフトウェアを含んでおり、輸出規制されていることや、ウォレットソフトウェアが数メガバイトのサイズであり、物理的な媒体 (CD-ROM) で配布せざるを得ないためである。

課題の は利用者がSET決済の利用を躊躇する要因となり、 は決済機関に多大なコスト負担を強いる。

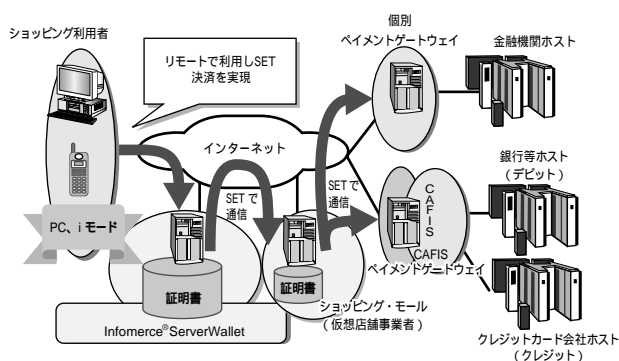


図1 Infomerce® ServerWallet概要
Fig. 1 Outline of Infomerce® ServerWallet

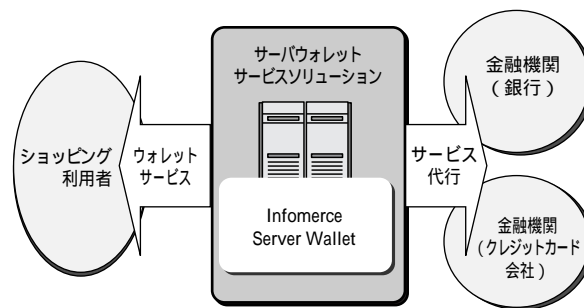


図2 ウォレットサービスソリューションの概要
Fig. 2 Outline of wallet service solution

当社は、これらの課題を解決するソリューションとして、「サーバ管理型SET決済システム」を開発した。本ソリューションはInfomerce®*1) ServerWalletにより実現される。図1にInfomerce® ServerWalletの概要を示す。

しかし、本ソリューションが個々の決済機関に独立に導入された場合には、ショッピング利用者は複数の決済機関から決済サービスを受けるために各々の決済機関のウォレットを使用せねばならず、結局、ショッピング利用者の利便性の問題は抜本的には解決されない。また、決済機関においても、ウォレットサービスをシステム化して提供するために、システムの高度なセキュリティ確保が必要となるなど、システム構築のコスト以外でのサービスシステム運用における運用および利用者サポートコストなどの負担が大きいという課題があった。そのためSET決済については、決済機関が低コストでサービスを提供でき、かつ利用者が簡単に利用できる、共同・共用サービス環境の整備が切実に求められていた。

当社では、このような背景と市場動向を受けて、「Infomerce® ServerWallet」のテクノロジーを核としたサーバウォレットサービスソリューションの研究開発を行ってきた。

3. ソリューション概要

サーバウォレットサービスソリューションは、各決済機関がSET決済サービスを提供するために必要なサービスを代行運用・管理し、利用者のウォレットをサー

バウォレット上で集中管理することによって、簡単にSET決済を利用できるウォレットサービスを提供するものである。これにより、決済機関は自社にてウォレットシステムを運用・管理することなく、低コストでウォレットをショッピング利用者に提供でき、ショッピング利用者は決済機関ごとのウォレットを持つことなく、共通化されたウォレットでショッピングができるようになる。

図2に、本ソリューションの概要を示す。

本ソリューションが提供するサービスには、ショッピング利用者に対するサービスと決済機関に対するサービスがある。

以下では、具体的なサービスについて説明する。

3.1 提供サービス内容

(1) 対ショッピング利用者サービス

ショッピング利用者に対するサービスとしては、以下のものがある。

●ウォレットサービス

ショッピング利用者に対してウォレット機能を提供するサービスである。このサービスを利用することにより、ショッピング利用者は、従来に比較して簡単にSET決済を利用できるようになる。また、ウォレットは共通化されるため、決済機関ごとにウォレットを切替えることなくSET決済を利用できるようになる。

将来、ショッピング利用者の利用環境を携帯電話(iモード等)からでも利用できるようにし、サービス利用者のさらなる利便性拡大を図っていく計画である。

(2) 対決済機関サービス

決済機関に対するサービスには、以下のものがある。

* 1) Infomerceは沖電気工業(株)の登録商標。

• ウォレット提供代行サービス

従来、決済機関が行なっていたウォレットの配布・運用・管理を代行するサービスである。本サービスは、各決済機関が自社のSET証明書をサーバにて一括管理されるウォレットに添付する権利を貸し出すサービスである。決済機関は、本サービスを利用することによりスピーディなSET決済サービスの展開およびウォレットの作成・配布およびサポートにかかっていたコストを従来の約半分に低減することができる。

• コールセンタサービス

ショッピング利用者がウォレット利用時に発生した問題や障害について問い合わせをした場合に、その問い合わせを受け、調査および対処を行なうサービスである。

• SET証明書代行取得サービス

従来、ウォレットに添付されていたSET証明書を決済機関に代わって取得するサービスである。

• 広告サービス

ウォレットに決済機関のロゴ等を表示させる広告サービスである。

図3に本ソリューションのサービス内容を示す。

3.2 サービス運用に求められるセキュリティ

電子商取引の決済システムには、その性格上、個人情報漏洩やデータ改ざん、およびクラッキング等のネット犯罪に対するサービス利用者保護を実現し、サービス運用に対する利用者の信頼を確保する必要がある。

そのため、クレジットカード会社や金融機関からは非常に高いレベルのセキュリティ監査(Audit)基準の確保を求められる。

具体的には、

マネジメント要件(組織、人の質)

運用要件(取扱情報の機密性、監査情報取得)

システム・設備要件(設置場所、堅牢性)

を詳細な項目で指定され、実運用環境での監査(Audit)を受けることとなる。また、サービス開始以降も定期的に監査を受け、セキュリティレベルを常に維持した状態で運用することとなる。

本サービスソリューションにおいても、これらのセキュリティ要件の実現が必須となるため、VISA INTERNATIONAL, MasterCard International等がペイメントゲートウェイについて定めるセキュリティ要件に相当する環境での運用を実現する事を前提としている。

3.3 サービスシステム運用

インターネットショッピングの世界では、すでに24時間いつでもショッピングができることが当たり前となっている。また、ネット決済システムについては、利用者の口座をネット上で扱うこととなるため、そのシステムは安全・確実に運用されることが必須となる。そのため、本ソリューションのサービス運用についても、当然、24時間、365日のフルサービス提供が可能ながことが大前提である。それとともに、利用者やウォレ

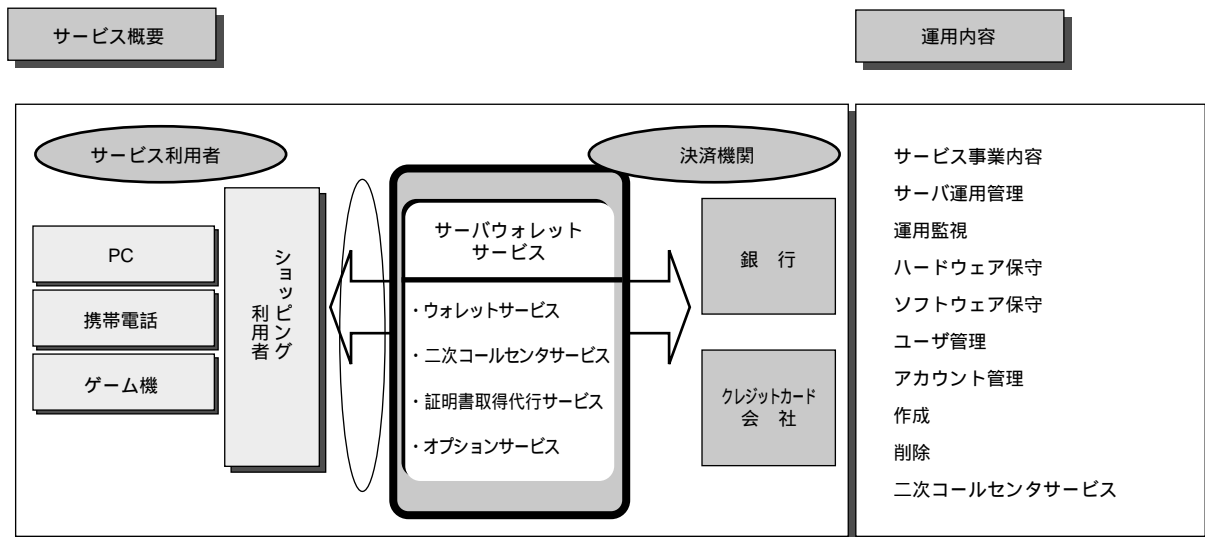


図3 サーバウォレットサービス内容
Fig. 3 Contents of server wallet service

ト情報の二重化や、早期の障害リカバリを前提としたデータバックアップ、またSETトランザクション増加時の効率的な負荷分散や柔軟な拡張性の確保ができるシステム構成を検討中である。

4. 今後の展開

本サーバウォレットサービスソリューションは、決済機関およびショッピング利用者に対するウォレット提供サービスを基本とするものである。今後、SET決済利用者を増加させ、SET決済をインターネット決済の主流とするために、さまざまな応用サービスを本ソリューションに追加していく計画である。これにより、ショッピング利用者にとって使い勝手のよいサービスソリューションとし、結果的にショッピング利用者を集めることのできる決済サービスポータルへと進化させることを目指している。

応用サービスの例として、以下のものが考えられる。

(1) ショッピング利用者へのサービス

シングルサインオンサービス

ポイントサービス

ウォレット利用明細サービス

また、SET決済サービスとして考えた場合、ショッピング利用者に対するサービスだけではSETそのものの普及が進展しない危惧もあるため、仮想店舗も容易にSET決済を利用できるサービス環境を本ソリューションに取り込んでいく計画である。

(2) 仮想店舗へのサービス

仮想店舗SET決済運用サービス

利用者届け先情報転送サービス

広告サービス など

上記以外にも、決済機関へのサービスとして、SET証明書発行のための承認を決済機関に代わって行なう証明書使用者認証代行サービスを計画している。

5. あとがき

当社のInfomercer[®] ServerWalletを基盤とした、「サーバウォレットサービスソリューション」について、その必要性、概要、および今後の展開を述べた。

本サービスソリューションが市場に展開された場合、インターネット決済市場に対して大きなインパクトを与え、中長期にわたってインターネット決済サービスの核になっていくものと予想される。また、これまで、本サービスソリューションに対してご賛同をいただき、サービス利用を表明いただいている決済機関もすでに数社ある。そういった状況を背景に現在、本ソリューションを具体的なサービスとして展開するための事業会社の設立を進めている。この事業会社は、本サービスソリューションを決済サービスの柱として市場展開を行ない、2003年には利用者100万人を目指している。

6. 参考文献

- 1) 電子商取引実証推進協議会；
「認証局運用ガイドライン(1.0版)」
(<http://www.ecom.or.jp/>)